

がん予防のススメ Vol.10

頭頸部がん 予防のすすめ



徳島大学病院
耳鼻咽喉科 頭頸部外科
准教授

田村公一氏

過度の飲酒、喫煙は、がんの発生率を

高めます。喫煙により、のど・声帯のがんは三十二倍の発生率、飲酒により食道がんは六倍の発生率、喫煙と飲酒により全てのがんは二倍の発生率になります。さらに頭頸部がんは食道がんなど他の部位と重複して発生しやすくなります。

頭頸部がんにかからないために、日本頭頸部癌学会では「禁煙・節酒宣言」が行われています。頭頸部は呼吸・摂食など人間が生きる上で必要な機能、さらに発声、味覚、聴覚など社会生活を送る上で重要な機能が集中しています。がんによって、これらの機能が損なわれ、生活の質を低下させることのないよう、皆様には喫煙と過度の飲酒を戒め、禁煙・節酒を心がけるようお願いいたします。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ

■徳島大学病院:Tel.088-631-3111
■がん診療連携センター:Tel.088-633-7312
■徳島がん対策センター相談窓口:Tel.088-633-9438